

校訓

「誠を尽くし、創造性を育てる」

学校教育目標

自分を大切に 他人を大切に 命を大切に

めざす学校像

- 笑顔に会える学校
(生徒が自由に安心して学び、笑顔で生活できる学校)
- 時代の変化に対応した学校
(生きる知恵をもった生徒を育成する学校)
- 地域に信頼される学校
(地域・保護者に自信を持って生き方を語れる学校)

子どもにつけたい力

- 基礎・基本の学力・自ら学ぶ力
(学力・進路保障の原点)
- 基本的生活習慣をそなえ、社会に出て通用する力
(生活指導の基本)
- 人とつながれるコミュニケーション力
(集団づくりの原則)
- 互いの違いを認め合い、他者を尊重できる力
(信頼関係づくりの基盤)

PTA

地域

小学校

学校運営協議会

<生徒を育てる4つの「て」だて>
「褒めて」「叱って」「認めて」「励まして」

生徒指導の重点

- 人権尊重の精神に立ち、コミュニケーションを大切に
し、一人ひとりを生かす生徒指導
- 教師と生徒との信頼関係を大切に心の通った生徒指導
- 基本的生活習慣の確立を図り、自主的、民主的に行動
できる生徒の育成
- 保護者、地域との連携を密にし、信頼・協力・協働の
関係の構築
- 全教職員の共通理解(報告・連絡・相談)を図り、一致
協力した指導体制の確立と実践

健康・安全管理の指導の重点

- 健康管理を自主的に行う態度を育成する。
- 健康な生活を維持し、自ら積極的に体力づくりを行う
態度や実践力を養う。
- 学校内外の事故防止のため、安全指導に取り組む。
- 「命を大切に」する指導を全教育活動の中で取り組む。

学習指導の重点

- わかりやすい授業(生徒のつまずきに気づくことからユ
ニバーサルデザインの授業)
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善
- 指導方法の工夫・改善(特にチームティーチング・
習熟度別など)によるきめ細かな指導
- 特別支援教育の研究推進
- 自然体験、社会体験等の体験活動
- 地域人材を活用した「開かれた学校」づくりの推進
- 情報教育の推進
- ボランティア活動

人権教育の重点

- 3年間のビジョンを持った人権学習の取り組みを進
め、世の中の差別を見抜く力の育成及びなくすための
スキルの習得
- 違いを認め合える集団づくり
- 当事者がいることを認め、相手の思いを受け止められ
る力の育成
- いのちの学習を柱とした、多くの人権課題について、
保護者・地域の思い、生徒の生き方につながる取組み
- 自分の力で進路選択できる力の育成
- 問題事象が生じた時の組織対応及び早期対応